

KMS news



Topics 2021年度はISO9001の更新審査を受審します！

2020年度はコロナ禍の影響から、当院が受審を予定していた日本人間ドック学会の機能評価認定更新審査、日本総合健診医学会の優良施設認定更新審査が1年先延ばしになりました。どちらも2022年1月の受審を予定していますが、2021年度はもう一つ、溪仁会グループ全体でISO9001の更新審査を受審することが決定しており、当院には10月頃に審査を受審する予定です。

ISOの審査は、溪仁会グループ各施設が初回の認定登録を行った2000年初頭から随分様変わりしています。当時は「規格要求事項に則した文書化、ルール化がされているか？」「自ら定めたルールに則した運用実態があるか？」等の「適合性」を中心に審査が行われていましたが、規格の改訂や世間のニーズの変化等により、現在は「この手順で有効なアウトカムを得られているか？」「リスクや機会に対して柔軟に対応できるルール・手順を持っているか？」等の「有効性」が監査の中心となってきました。

溪仁会グループがISO9001を骨格としてKMS（溪仁会マネジメントシステム）を構築している目的は「質の高いサービス」を提供するためです。その仕組みを監査するならば、最初に見るべきは「サービスの質が高いかどうか？」、つまりアウトカムです。そういった意味から、審査の様変わりは「バージョンアップ」と言えると思います。

当院がISO更新審査を受審したのは2年半前ですので、そこからもバージョンアップしています。規格の改訂（ISO9001:2008～9001:2015へ）もありました。更新審査の受審を「業務を見つめ直す機会」として前向きに捉え、各部門・部署や個人の単位での「自律的な準備」を宜しくお願い致します。



文書管理・内部監査WGより

2020年度内部監査実施

今年度の内部監査は、「部門/部署の目標（活動目標）策定後の活用状況について」をグループ重点項目として、模範チェックシートを使用し実施しました。また、サイトの重点項目は、「パスワードの管理・運用状況の確認」について実施しました。情報管理規定を基に、当院の不正な情報の流出を未然に防ぐ為に、各部署でパスワードの重要性を再認識しました。引き続き、定期的なパスワードの変更と管理の徹底にご協力をお願い致します。

監査部署	監査日
診療部	3月30日
健診部	1月19日、3月24日
保健事業部	3月12日
経営管理部	2月25日

環境・リユースWGより

つくる責任・つかう責任 「より少ないものでより多くより良く」

2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標SDGs（持続可能な開発目標）の1つです。日本でもつくる責任として環境に配慮した商品を開発、リサイクルに取り組む企業が増えています。そしてつかう責任とは！？・・・プラスチックや紙などについて考えることが多いのですが、家庭での食品ロスも問題となっています。日本での食品ロスは年間約612万トン。1人当たり1日1～2個おにぎりを捨てている計算になるとのこと。その約半分の46%が家庭ごみ。家庭以外に外食での食品ロス率も高いのが現状です。マイ箸、マイボトル、エコバックは継続していくものとして、家庭でも私たちに出来ることはあります。

- ①食材を使い切る ②食べ切る ③必要な分だけ買う ④賞味期限の近いものを選ぶ
- ⑤適切に保存する ⑥環境や食品ロス削減に取り組む企業や団体を応援する
- ⑦外食時は食べ切れる量を注文するなど。

本年度はコロナ禍ということもあり院外清掃も年1回のみで、カミネツコンの植樹活動も出来ずに終了しました。会社内だけではなく、個人として環境の為に出来る事もこれから啓蒙していけたらと考えています。



個人情報管理WGより



個人情報保護設問集

毎年、皆さんに実施して頂いています「個人情報保護設問集」ですが、今年も例年通りテストを実施します。設問内容は、本部で開催している「個人情報保護検討分科会」にて決定されています。基本的な問題や、その時の情勢に合わせた設問など、皆さんが業務を行う上で知って頂きたい「個人情報保護」の内容になっています。

また、設問とは別に参考資料を記載しています。この部分も「個人情報保護」や「個人番号（マイナンバー）」に関する解説などが記載されていますので、是非、目を通して頂き、日常業務にご活用下さい。

お客様の声

ご意見・ご要望



受付から名前を呼ばれるまでの時間が長すぎます。もっと手早くスムーズに対応し、確認作業を間違えて下さい。自覚のある仕事の仕方を望みます。

貴重なご意見を
ありがとうございます！

ご回答



受付職員の人員不足や教育不足の影響により、お待たせしたと思います。欠員職員を完了し、教育体制の強化を図っております。新型コロナウイルスの感染防止対策や保険証の確認等でお時間がかかる場合もございますが、引き続き時間短縮に努めて参ります。

iKMS review

発生したトラブルにおける「真の要因」と「是正対応」とは？

当院では活動中に発生したトラブルに対して、その内容に応じて様々なフローと様式を用いて再発防止を図るシステム設計がされています。（医療安全関連であれば「インシデント・アクシデント報告書」を提出するなど）

ここで重要になるのは、①発生した経緯と背景を把握する事、②事象を分析し、発生した「真の要因」に辿り着く事、③根本的な是正対応を行う事（＝対処療法ではない事）、この3点です。これが機能すれば、再発の確率は下げられます。

医療安全でもクレームでも、日常作業中のミスでも考え方は同じです。再発防止を合理的に進める為にも、是非日常から上記3点を意識してみてください！

部署活動紹介

放射線科 『ボトルキャップとリングプルの回収』

放射線科では、ボトルキャップとリングプルの回収に取り組んでいます。マイボトルを持参している人もいるので集められる量は、毎回多くはないのですが、環境問題に貢献するべく小さなことからコツコツと。これからも地道に、他にできる事が何か？考えながら、楽しく取り組んでいこうと思います！



次回33号(6月)は運動指導科です！

編集後記

溪仁会グループの取り組みとして「CSRとSDGsを関連付ける」とありましたが、皆さんは確認しましたか？身近なところでは、私の娘の定期テストでもSDGsが出題されており、現在、様々な分野でこの政策を耳にし、目にする事が多くなりました。持続可能な自身の目標の一つでも作り、新年度を迎えましょう！

